

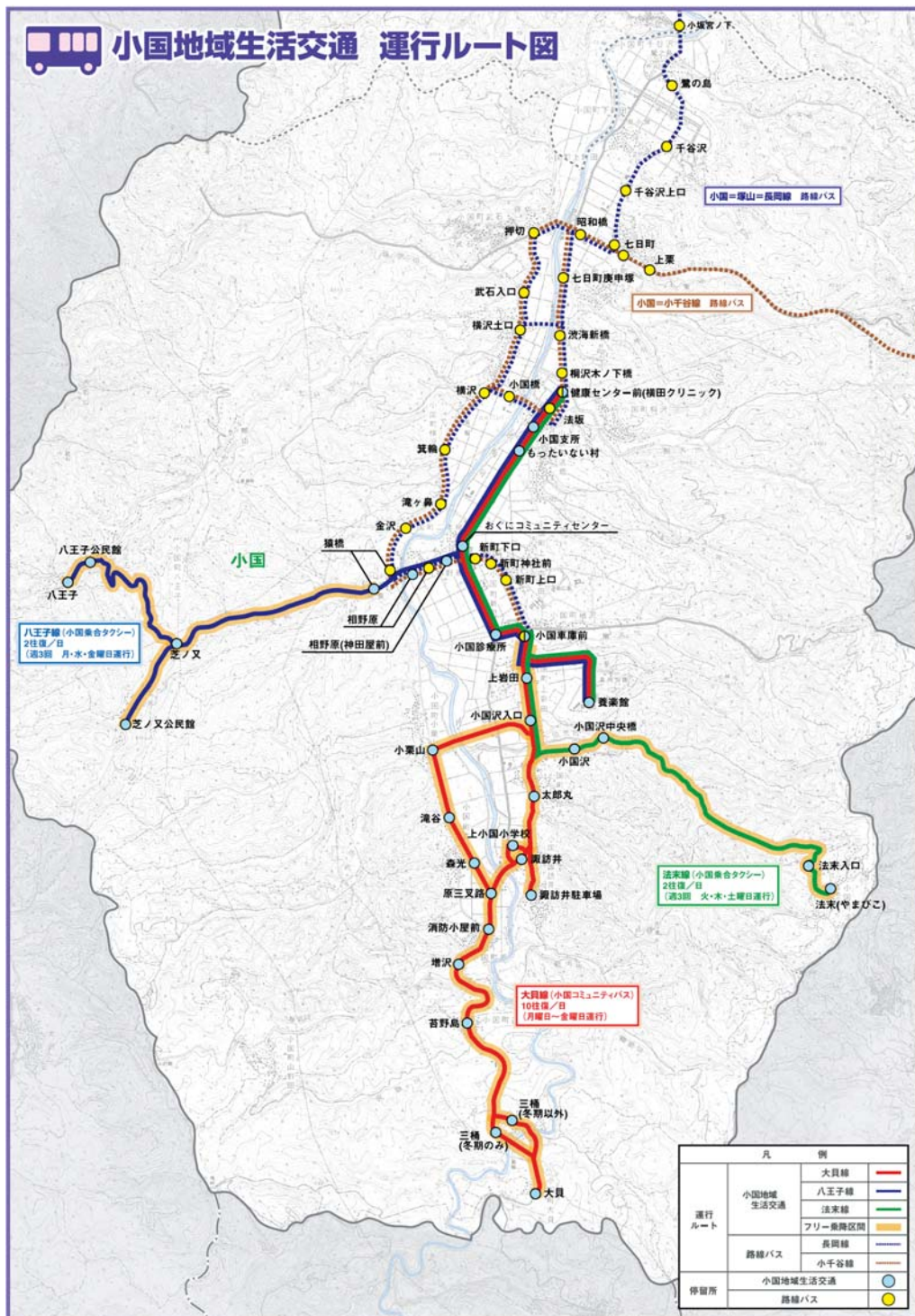
報告事項 1

生活交通（小国地域、川口地域、山古志地域・太田地区）の利用状況について

1. 小国地域

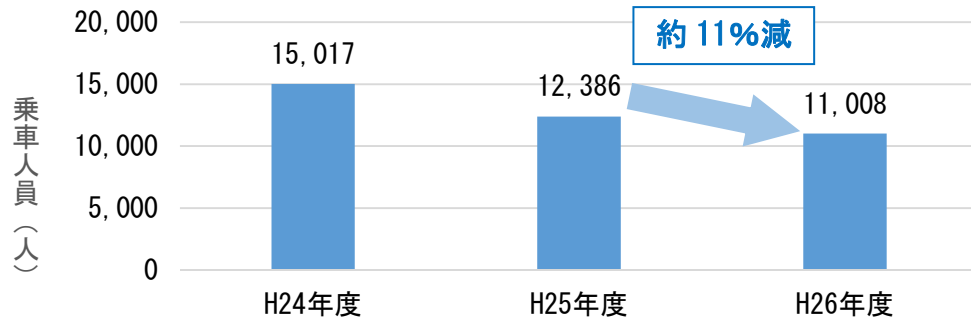
●平成26年度の運行状況

- H25年度からの運行変更はなし。
- 大貝線は、公共交通空白地有償運送によるマイクロバス運行、法末線・八王子線は乗合タクシーによる運行。

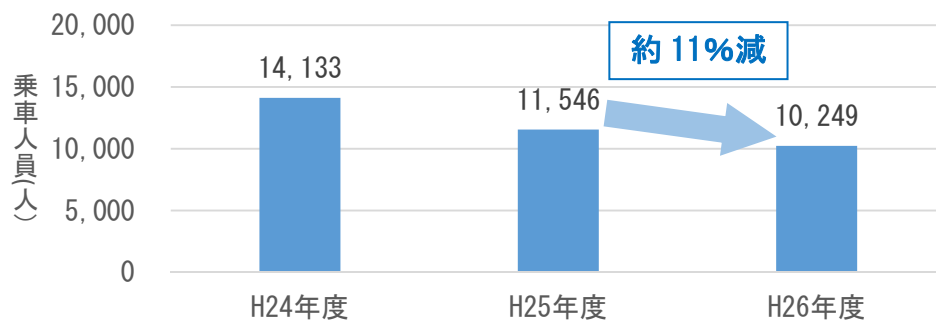


●平成26年度の利用状況

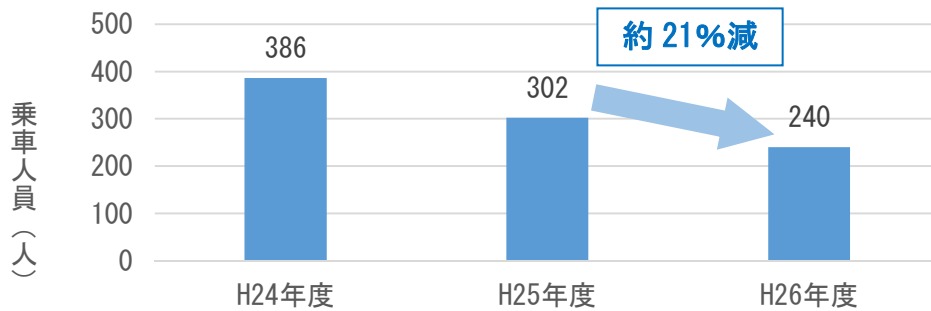
■ 全路線計



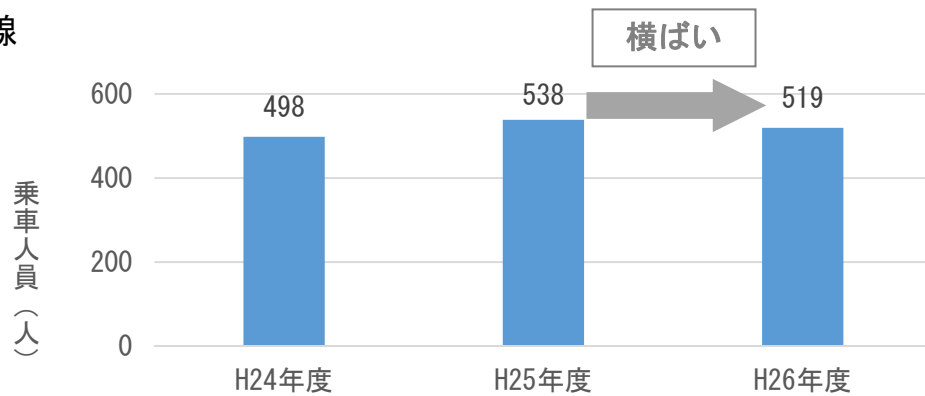
(1) 大貝線



(2) 八王子線



(3) 法末線



●利用者減少の要因

- ・人口減少による自然減。
- ・少子化により、学生の利用者が減少したこと。

●平成27年度の運行状況

○H27年度から、法末線・八王子線は乗合タクシーによる定期運行からデマンド方式による運行へ変更。
○大貝線は、これまでどおり公共交通空白地有償運送によるマイクロバス運行。

●平成27年度の利用状況

大貝線	4月	5月	6月	合計
H26	798	800	807	2,405
H27	833	706	812	2,351
前年度比	104%	88%	101%	98%

八王子線	4月	5月	6月	合計
H26	33	16	17	66
H27	10	10	28	48
前年度比	30%	63%	165%	73%

法末線	4月	5月	6月	合計
H26	50	37	41	128
H27	30	24	38	92
前年度比	60%	65%	93%	72%

合計	4月	5月	6月	合計
H26	881	853	865	2,599
H27	873	740	878	2,491
前年度比	99%	87%	102%	96%

乗合タクシー 合計	4月	5月	6月	合計
H26	83	53	58	194
H27	40	34	66	140
前年度比	48%	64%	114%	72%

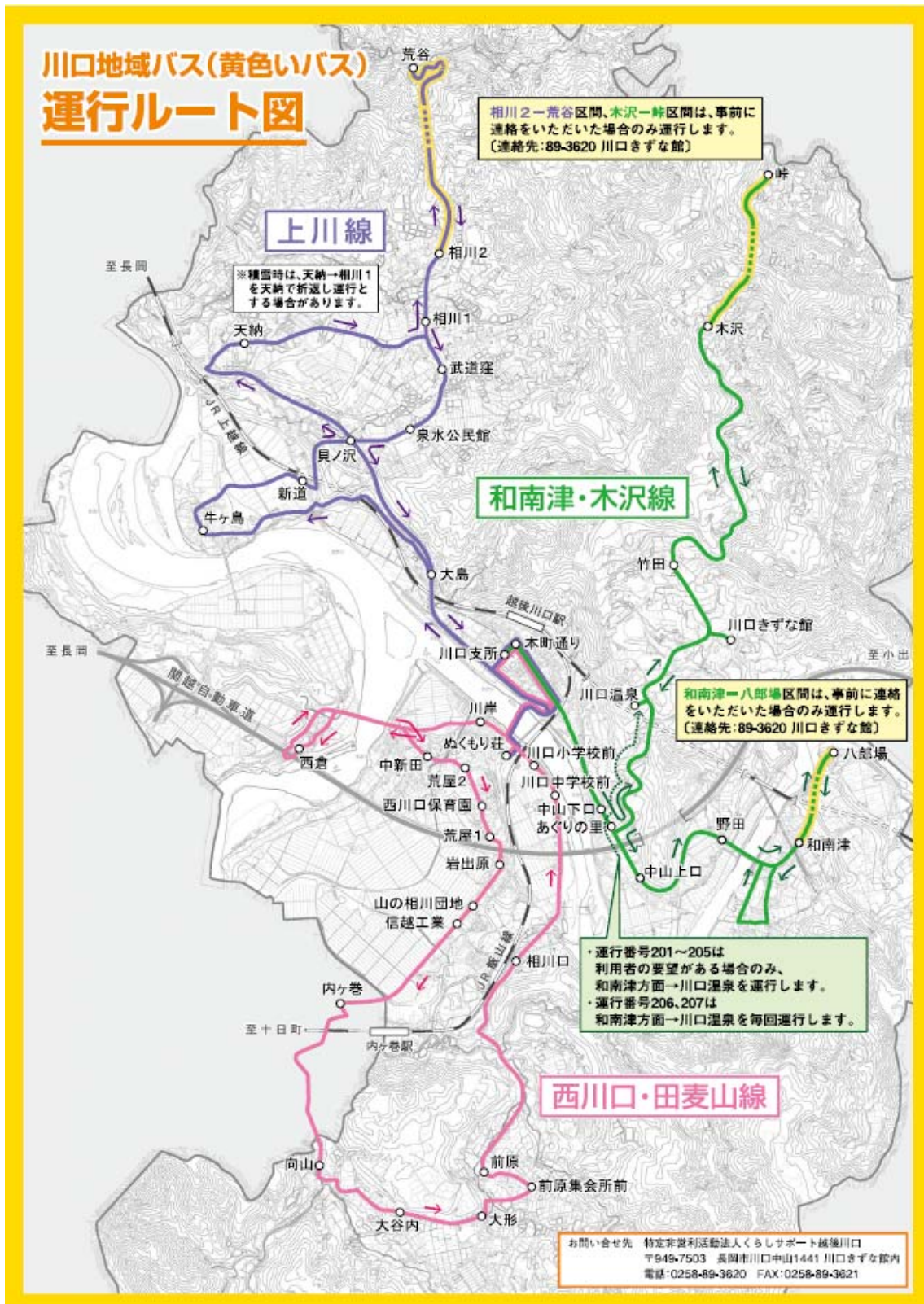
●今後について

- ・デマンド化した法末線、八王子線については、4、5月は電話予約に対する不慣れもあり利用者数が減少したが、6月は回復傾向にあるため、しばらく推移を見守るものとする。
- ・大貝線についてはほぼ昨年並みの利用者数であるが、今後利用者が減少した場合は、効率化を図るため運行見直しの検討を行うものとする。

2. 川口地域

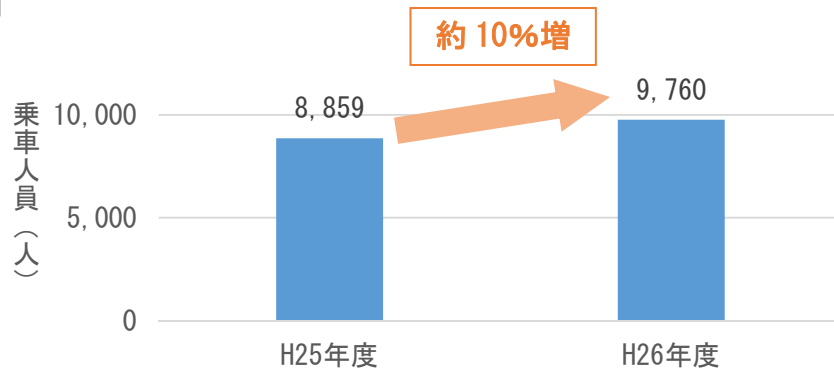
●平成26年度の運行状況

- H25年度からの運行変更はなし。
- 全路線で公共交通空白地有償運送による地域バス運行。

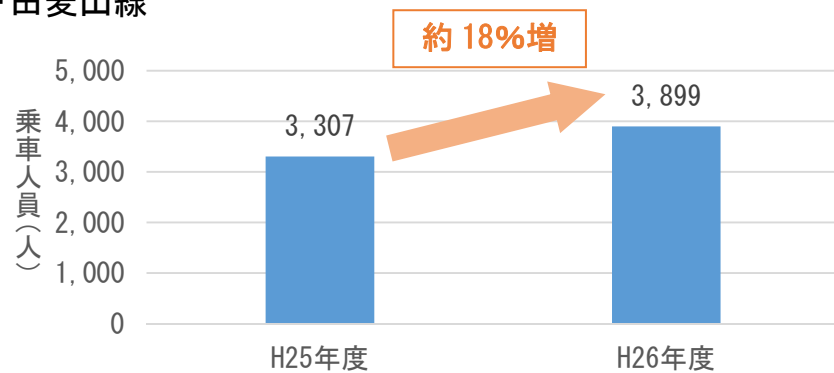


●平成26年度の利用状況

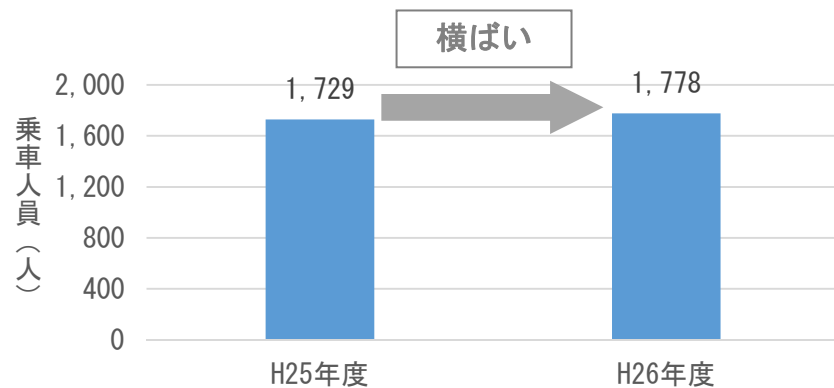
■ 全路線計



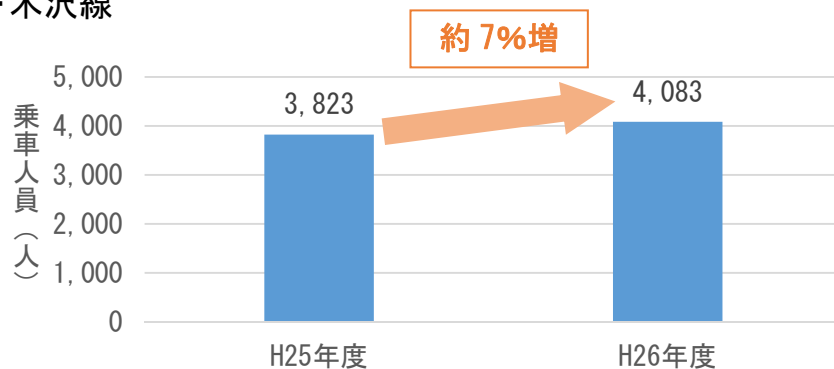
(1) 西川口・田麦山線



(2) 上川線



(3) 和南津・木沢線



●利用者増加の要因

- ・バスの運行内容が年々浸透してきたこと。
- ・市営バス時代よりも便数が増加しており、乗り継ぎや時刻、停留所の配置等で利便性が良好であること。

●平成27年度の運行状況

- H26年度からの運行変更はなし。
- 全路線で公共交通空白地有償運送による地域バス運行。

●平成27年度の利用状況

西川口・田麦山線	4月	5月	6月	合計
H26	312	314	269	895
H27	247	299	334	880
前年度比	79%	95%	124%	98%

木沢・和南津線	4月	5月	6月	合計
H26	345	309	349	1,003
H27	376	259	292	927
前年度比	109%	84%	84%	92%

上川線	4月	5月	6月	合計
H26	112	118	152	382
H27	180	149	152	481
前年度比	161%	126%	100%	126%

合計	4月	5月	6月	合計
H26	769	741	770	2,280
H27	803	707	778	2,288
前年度比	104%	95%	101%	100%

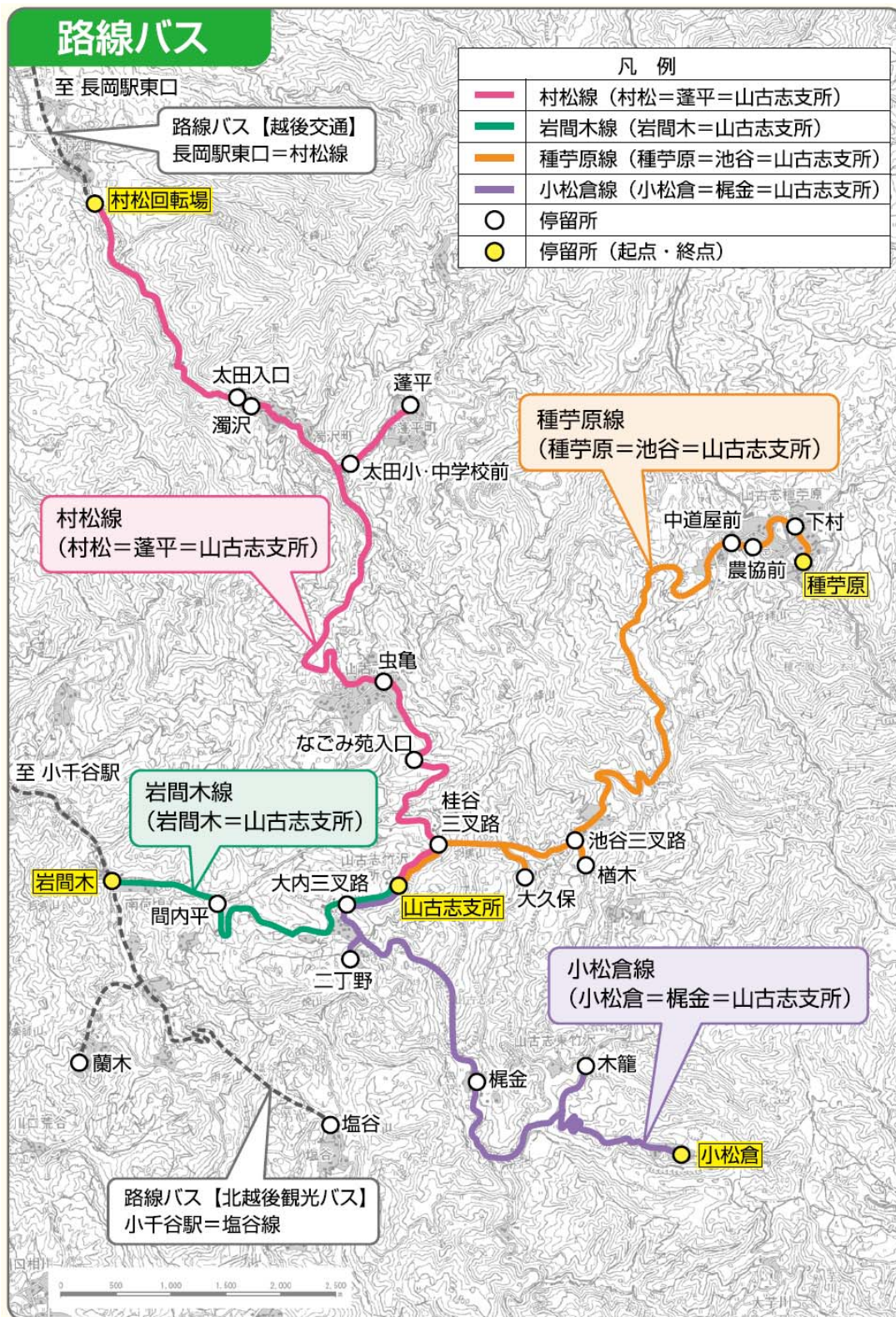
●今後について

- ・今年度の利用も昨年度並みに推移しているため、しばらく今後の推移を見守るものとする。

3. 山古志地域・太田地区

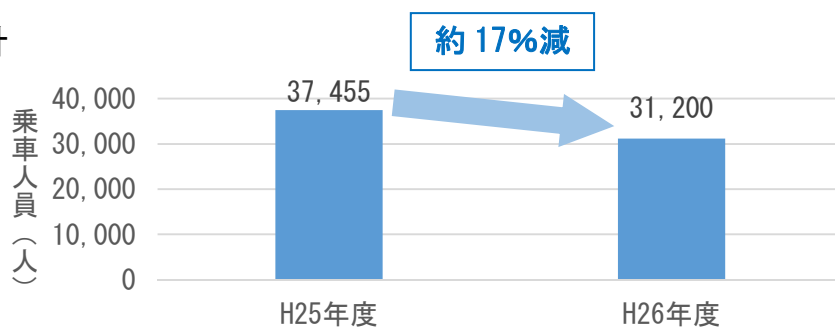
●平成26年度の運行状況

○H25年度まで会員制の無料バスを運行していたが、H26年度からは全路線で公共交通空白地有償運送による地域バス運行に変更。

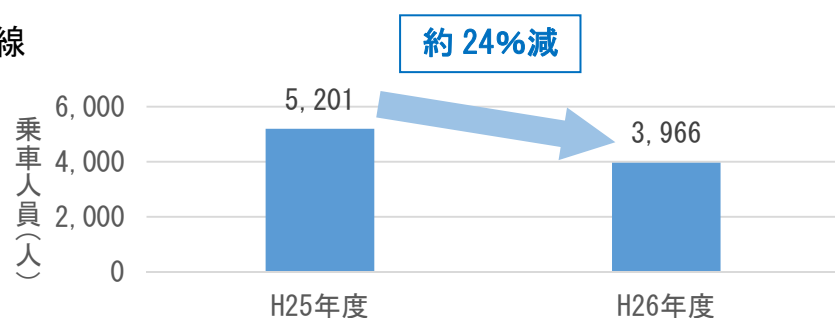


●平成26年度の利用状況

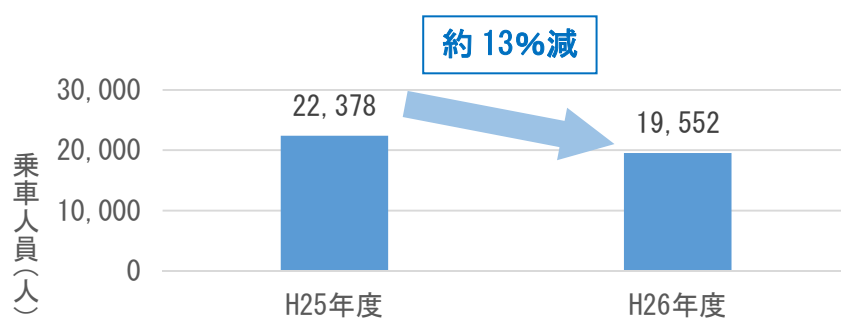
■ 全路線計



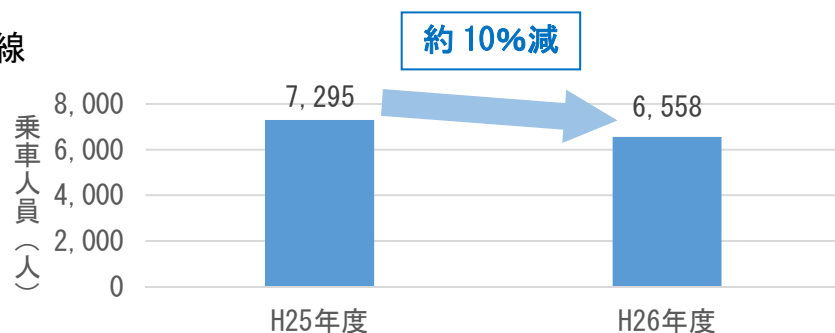
(1) 種芋原線



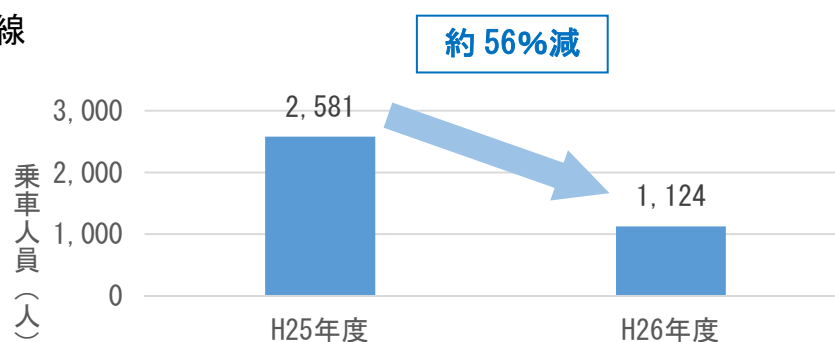
(2) 村松線



(3) 岩間木線



(4) 小松倉線



●利用者減少の要因

- ・ H 2 6 年度からの有償化による利用者の減少。
- ・ 小松倉線については、通学に利用していた学生が卒業し、利用しなくなったことに伴う減少。

●平成 2 7 年度の運行状況

- H26 年度からの運行変更はなし。
- 全路線で公共交通空白地有償運送による地域バス運行。

●平成 2 7 年度の利用状況

種芋原線	4月	5月	6月	合計
H26	346	345	356	1,047
H27	419	368	385	1,172
前年度比	121%	107%	108%	112%

岩間木線	4月	5月	6月	合計
H26	551	632	615	1,798
H27	516	450	537	1,503
前年度比	94%	71%	87%	84%

村松線	4月	5月	6月	合計
H26	1,611	1,882	1,780	5,273
H27	1,564	1,601	1,817	4,982
前年度比	97%	85%	102%	94%

小松倉線	4月	5月	6月	合計
H26	92	106	74	272
H27	124	121	129	374
前年度比	135%	114%	174%	138%

合計	4月	5月	6月	合計
H26	2,600	2,965	2,825	8,390
H27	2,623	2,540	2,868	8,031
前年度比	101%	86%	102%	96%

●今後について

- ・ 路線により増減はあるものの、全般的には今年度の利用者数も昨年度並みに推移しているため、しばらく今後の推移を見守るものとする。